





## 6. 配線の接続

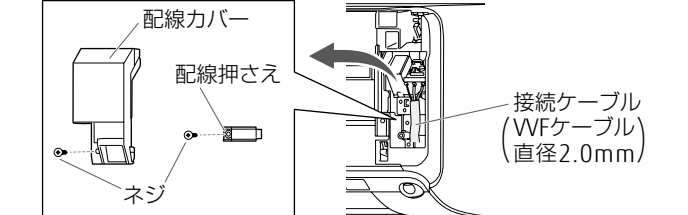
### ⚠警告

- 接続ケーブルは VWF ケーブル直径 2.0mm\* を使用するより線は絶対に使用しない  
より線を使用すると火災の原因になります。
- 端子盤への接続ケーブルの差し込みは確実に行う  
差し込みが不確実ですと火災の原因になります。
- 接続ケーブルは必ず配線押さえで固定する
- 接続ケーブルを途中で接続しない  
故障、感電、火災などの原因になります。

\*最大電流が 15A 以下の機種で、電線の長さが 10m 以内の場合は、直径 1.6mm の接続ケーブルも使用できます。再利用時については、直径 2.0mm の接続ケーブルを推奨します。

#### 室内ユニットの配線

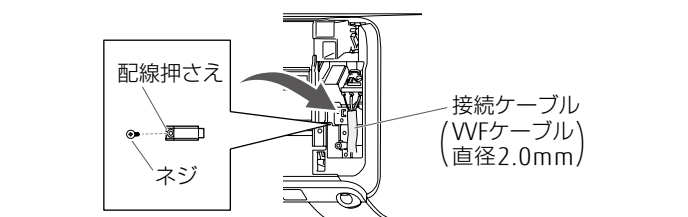
- ①吸込グリルを開きます。
- ②配線カバーをはずします。
- ③配線押さえをはずします。
- ④接続ケーブルを室内ユニット裏側から通します。



- ⑤接続ケーブルの先端を端子盤に確実に差し込みます。
  - ・むき出し部の芯線は、まっすぐにしてむき線部が見えなくなるまで差し込んでください。
  - ・むき出し部の芯線が確実に挿入されているか、確認窓から確認してください。



- ⑥接続ケーブルの外装部を配線押さえで固定します。(ネジで固定してください。)



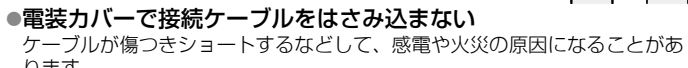
- ⑦配線カバーをネジで取り付けます。
- ⑧吸込グリルを閉めます。

### ⚠注意

- 端子盤の番号と接続ケーブルの色は、室内ユニットと室外ユニットを合わせる  
誤配線すると電気部品を破損することがあり、発煙、発火の原因になることがあります。



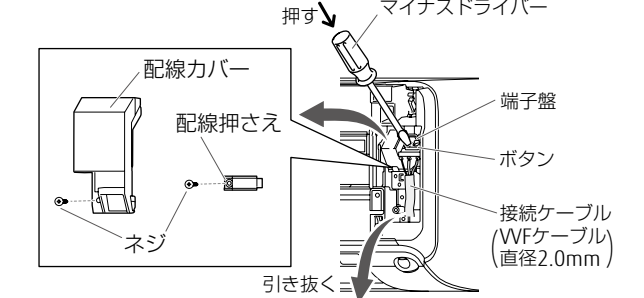
- 配線押さえでの固定は、必ず接続ケーブルの外装部を押さえる  
絶縁体を押さえると漏電、感電の原因になることがあります。



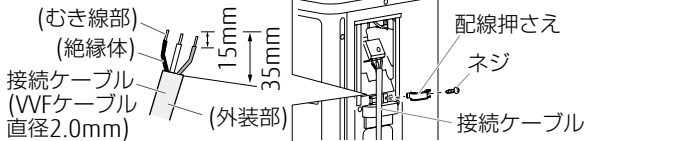
- 電装カバーで接続ケーブルをはさみ込まない  
ケーブルが傷つきショートするなどして、感電や火災の原因になることがあります。

#### 接続ケーブルの抜きかた

- ①吸込グリルを開きます。
- ②配線カバーをはずします。
- ③接続押さえをはずします。
- ④マイナスドライバーで端子盤のボタンを押しながら接続ケーブルを引き抜きます。



#### 【より線使用禁止】



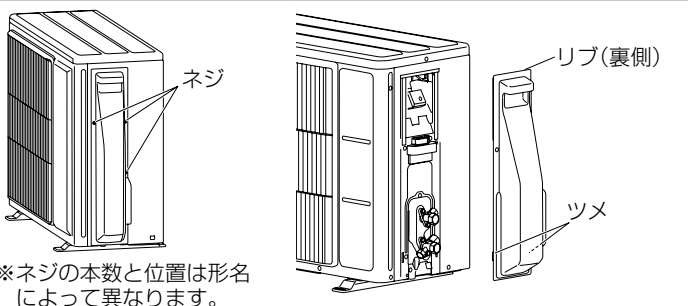
- ⑤接続ケーブルは、右図矢印Aの範囲内で室外ユニット後方に出します。(接続ケーブルを範囲外に通すと、電装カバーが取り付けにくくなります。)



#### 電装カバーのはずしかた・取り付けかた

- 《はずしかた》
- ①ネジをはずします。
- ②電装カバーを下側に押し下げてから、手前に引いてはずします。

- 《取り付けかた》
- ①電装カバーのツメ(2 か所)と上部のリブを挿入した後、上側に押し上げます。
- ②ネジを取り付けます。

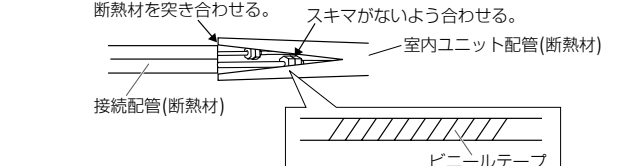


※ネジの本数と位置は形名によって異なります。

## 9. 仕上げ

#### 配管接続部の断熱

- 接続配管の断熱材と室内ユニット配管の断熱材を市販のビニールテープでスキマがないようシールします。



- 左出し・左後出し・左下出し配管の場合は、室内ユニット背面の配管収納部に収納する範囲内にクロステープを巻きます。



#### 室内ユニットの固定

- 室内ユニットの下部を壁側に押しつけて、据付板のひっかけ部に室内ユニットの下部ツメ(2 か所)を掛けます。

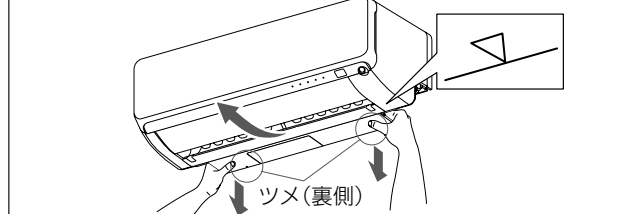
#### 次の事項を確認してください。

- 確実に上下ひっかけ部がはめ込まれているか、室内ユニットを前後左右に動かして確認してください。

- 室内ユニットは水平・垂直に取り付けられていますか。
- 左後出しの場合、ドレンホースは壁穴用パイプの下側になっていますか。

#### 室内ユニットの取りはずしかた

- アンダーカバー(左右 2 か所)を取りはずし、図のように本体底面の「マ」マーク部分を内側から下に押しなが引くと、ツメ(2 か所)が据付板からはずれます。



## ポンプダウンの手順（強制冷房運転）

- 冷媒の大気への放出を防ぐため、移設または廃棄時には、下記の手順により、室外ユニットへの冷媒回収を行ってください。

- ①強制冷房運転で 5 ～ 10 分間予備運転を行います。強制冷房運転は室内ユニットの「本体ボタン」を 10 秒以上押し続けることにより開始します。強制冷房運転中は「運転ランプ」と「タイマーランプ」が同時に点滅します。
- ②サービスバルブ(液側)の弁棒を全開にします。
- ③そのまま 2 ～ 3 分間、強制冷房運転を行い、サービスバルブ(ガス側)の弁棒を全開にします。
- ④強制冷房運転を停止します。運転停止は室内ユニットの「本体ボタン」を 3 秒以上押してください。(リモコンの「停止ボタン」を押しても停止します。)

### ⚠警告

- ポンプダウン作業では、次の注意事項を守る  
・ポンプダウン前に、冷媒漏れのないことを確認し、冷媒漏れがある場合はポンプダウンをしない  
・配管折れなどにより、冷凍サイクル内に冷媒がない場合はポンプダウンをしない

- 冷媒サイクル内に異常高圧となり、破裂、けがなどの原因になります。
- ポンプダウン作業では、接続配管をはずす前に圧縮機を停止する  
圧縮機を運転したまま、かつサービスバルブが開放状態で、接続配管をはずすと空気などを吸引し、冷凍サイクル内に異常高圧となり、破裂、けがなどの原因になります。

## 8. アース工事

### ⚠警告

- 必ずアース工事を行う  
アース工事は、販売店または専門業者に依頼する  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不確実な場合は、感電の原因になります。  
・アースは内蔵されたインバーター(周波数変換装置)による誘導電気を吸引したり、テレビやラジオに入るノイズを防止する効果があります。

#### 接地の基準

- 接地の基準は、エアコンの電源電圧および設置場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

電源の条件	エアコンの種類	エアコンの設置場所		
		水気のある場所に設置する場合	湿気のある場所に設置する場合	乾燥した場所に設置する場合
対地電圧が 150V 以下の場合	100V の機種 (含単相 3 線式 200V の機種)		D 種接地工事が必要です。	D 種接地工事は法的には除外されますが、安全のため接地工事を行ってください。
対地電圧が 150V をこえる場合	3 相 200V の機種および単相 2 線式 200V の機種	漏電しゃ断器を取り付け、さらに D 種接地工事が必要です。		

- 《D 種接地工事について》
- 接地工事は、電気工事士の資格を持っている人が行ってください。
- 接地抵抗は、100 Ω 以下であることを確認してください。ただし漏電しゃ断器を取り付けた場合は、500 Ω 以下であることを確認してください。
- 《乾燥した場所に設置する場合》
- 接地抵抗は、100 Ω 以下になるようにしてください。

#### 接地工事のしかた

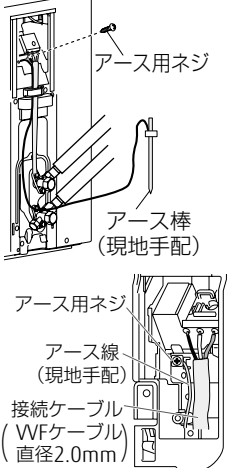
- アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース用ネジは、室内・室外ユニットにあります。

##### 室外ユニット

- アース棒(現地手配)を取り付けてください。
- アース線は配線押さえの中を通してください。

##### 室内ユニット

- 【単相 200V 機種の場合】
- 室内の電源コードがアース付きになっています。
- 【単相 100V 機種の場合】
- 配線押さえをはずし、アース用ネジへ直径 1.6mm 以上または断面積 2.0mm<sup>2</sup> 以上のアース線を取り付けてください。
- アース線は室内ユニットから接続ケーブル用の穴を通して接続してください。



## 10. 試運転

#### 試運転前の確認

- 《電源について》
- ・電圧は正しいですか。「1. 電源について」を確認してください。
- ・コードの加工・中間接続を行っていませんか。
- ・専用のコンセントになっていませんか。
- ・差し込みは確実にされていますか。
- 《アース線について》
- ・アース線の接続は確実にされていますか。

#### 試運転の実施

- 冷房(暖房)試運転を行い下記「試運転時の確認」の項目を確認してください。
- 運転方法については、取扱説明書に従ってください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ後、初回運転時はフィルターの取り付け状態の確認と調整を行います。(1 分 ～ 3 分)
- 室温によっては室外ユニットが運転しないことがあります。その場合は、エアコンを停止させて室内ユニットの「本体ボタン」を 10 秒以上押してください。「運転ランプ」と「タイマーランプ」が同時に点滅し、冷房試運転が開始されます。その後、リモコン操作により「暖房」を選ぶと、約 3 分後に暖房試運転が開始されます。(リモコン操作については取扱説明書に従ってください。)
- 試運転を終了するときは、室内ユニットの「本体ボタン」を 3 秒以上押すか、リモコンの「停止ボタン」を押してください。



### ⚠注意

- 新築物件やリフォームなどの内装工事、床面のワックスかけ時には、エアコンを運転しない  
作業終了後は、エアコンを運転する前に十分な換気を行う  
水漏れや塵飛びの原因になることがあります。

#### 試運転時の確認

- 《室内ユニット》
- ①リモコンの各ボタン操作で正常に動作しますか。
- ②各ランプは、正常に点灯しますか。
- ③風向板は、正常に動作しますか。
- ④冷・温風が出ますか。
- ⑤ドレン排水は正常ですか。
- 吸込グリル、ダストボックス、エアフィルターをはずし、水差しなどで水を注いでドレン排水が正常であるか確かめてください。
- 《室外ユニット》
- ①運転時に異音や振動が大きありませんか。
- ②運転音や吹き出した風・ドレン排水が、ご近所の迷惑になっていませんか。
- ③ガス漏れは、ありませんか。

## 11. お客様への説明

- 取扱説明書に従って、お客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明してください。
- 保証書、取扱説明書、据付説明書を室内ユニットに添付していますので、工事完了後お客様に保管していただくようお願いしてください。

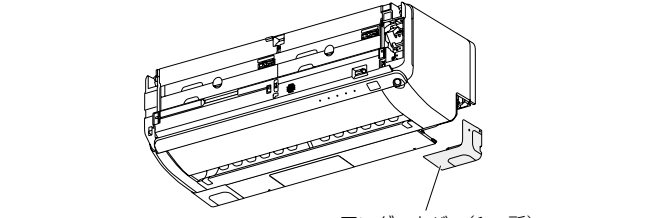
## 本体パネル R のはずしかた・取り付けかた

### ⚠注意

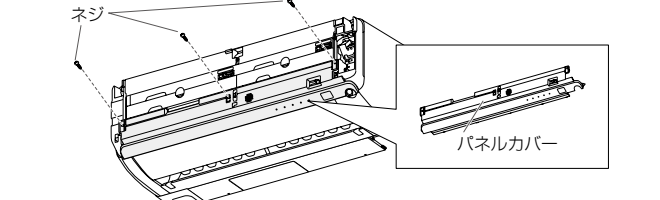
- 本体パネル R・パネルカバー・アンダーカバー・吹出パネルをはずすとき、または取り付けるときは注意して行う  
落下するときはけがをするおそれがあります。

#### 《はずしかた》

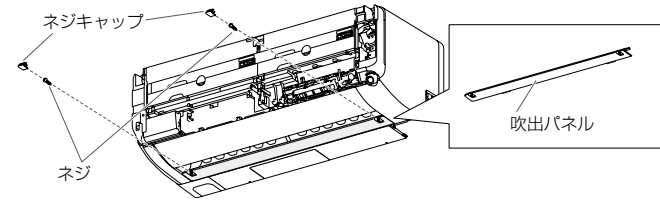
- ①配線カバーをはずします。
  - ・配線カバーのはずしかたは、「6. 配線の接続」の項目を参照してください。
- ②アンダーカバー(1 か所)をはずします。



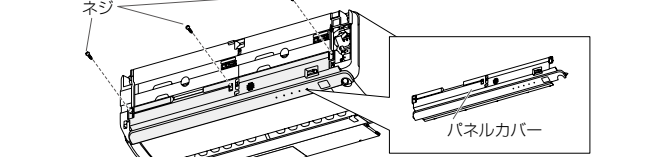
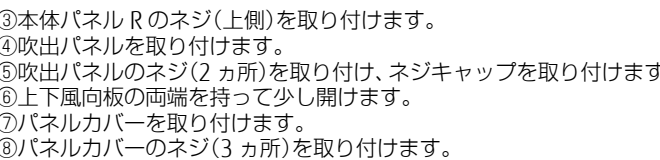
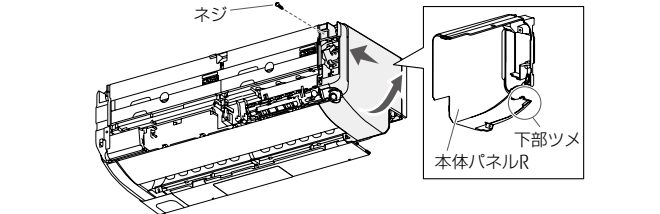
- ③上下風向板の両端を持って少し開けます。
- ④パネルカバーのネジ(3 か所)をはずします。
- ⑤パネルカバーをはずします。



- ⑥吹出パネルのネジキャップをはずし、ネジをはずします。(2 か所)
- ⑦吹出パネルをはずします。



- ⑧本体パネル R のネジをはずします。
- ⑨本体パネル R の下を持ち外側に開き、下部ツメを本体からはずし、本体パネル R を手前に引き、はずします。

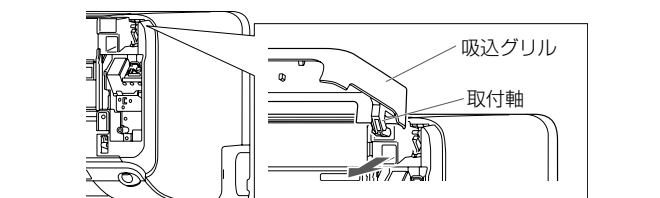


- ⑨アンダーカバー(1 か所)を取り付けます。
- ⑩配線カバーを取り付け、ネジを取り付けます。

## 吸込グリルのはずしかた・取り付けかた

#### 《はずしかた》

- ①吸込グリルの両端に手を掛けて手前に引き、途中の引っかかるところまで開けます。(手を離しても、吸込グリルが開いたままとなります。)
- ②吸込グリルを水平にしたまま、左右の取付軸を手前の方向に引いてはずします。



#### 《取り付けかた》

- ①吸込グリルを水平に支えながら、左右の取付軸を本体上部の軸受に取り付けます。それぞれの軸がきちんとはまるように、カチッとなるまで押します。
- ②吸込グリル下部の両端・中央部(3 か所)を押して閉めます。

### ⚠注意

- 吸込グリルをはずすとき、または取り付けるときは注意して行う  
落下するときはけがをするおそれがあります。